

新年のごあいさつ

代表理事組合長
橋本 浩



謹んで新春をお祝い申し上げます。
組合員、利用者の皆様方には、ご家族お揃いで輝ける新年のよき門出をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は、当JA事業全般にわたり、深いご理解とご協力をいただいておりますことを心より厚くお礼申し上げます。

騰・高止まりが経営に大打撃を与えています。既に、営農の継続が困難となり、廃業する生産者も増加している状況にあります。

農水省の監督指針の改正に伴う共済推進方法の見直し、循環型農業の推進など大きな環境変化により、利益の確保は一層厳しい状態となっています。特に、本年は主力品目の春にんじんが昨年より数量・平均単価で上回り好調であったにもかかわらず、販売事業以外の事業総利益は全て前年を下回る状態となっております。信用・共済事業に依存した従来のビジネス・モデルからの脱却が、今後のJAの課題と言えます。

さて、我が国は、世界的な気候変動や人口増加、地政学的リスクの高まりにより、食料や生産資材の需給がひっ迫しています。特に、わが国の食料自給率はカロリーベースで38%、飼料自給率は26%と、多くの穀物や肥料・飼料原料を輸入に依存している状態です。世界情勢が緊迫の一途をたどる中、今後、食料安全保障の観点から国内農業生産の増大が必要不可欠となります。

こうした現状を踏まえ、JAグループ徳島では、国内の農業生産者が安心して、今後も営農が継続可能となるよう、「農畜産物の適正な価格形成に向けた署名運動」を実施し、約6万5千名にもなる組合員の切なる思いがこもった署名を、野村農林水産大臣に直接手渡し、コスト上昇分を価格転嫁する仕組みづくりの早期実現を要望したところです。今後は、国内の消費者に、生産現場の窮状や国産国消の意義等を幅広く広報し、国民を巻き込んだ“大きなうねり”として、実効性ある施策の早期実現へ国に働きかけてまいります。

こうした中、本年4月には当JAが存続組合となる「JA徳島県」が、新たに誕生いたします。9JAが一体となることで、経営基盤を拡大し、知識を集めることで、組合員の皆様から、「真のパートナー」と呼ばれるよう、事業展開に創意工夫を重ねてまいります。

一方、当JAの経営状況をみると、組合員の高齢化、低金利政策の継続、円安の影響を受け、生産資材の価格高

最後になりましたが、合併を契機として全役職員が「組合員の、組合員による、組合員のためのJA」の協同組合の精神を志として事業に邁進してまいりますので、本年も皆様のご

指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。
重ねてご家族ご一同様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

◆ 謹賀新年 ◆

代表理事組合長 橋本 浩
代表理事専務 西條 雅夫
代表理事常務 土井 京子
第一理事 板東 幸夫
理事 阿部 雅信 犬伏 雅啓
大西 弘和 高田 浩之
浅野 敬一郎 河野 仁志
中野 公夫 板東 敏之
坂東 満二郎 牧本 久代
松丸 哲祐 三木 雅文
三好 元明 山本 隆義
渡邊 裕子

代表監事 植田 浩二
常勤監事 吉田 和弘
監事 井内 敏弘
圓藤 幸晴
河野 和明
中野 哲男

職員一同

令和6年 元旦

板野郡農業協同組合